

新規

事業者名

ユニオンエンジニアリング株式会社

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

地域の生命線である給排水衛生インフラの整備・維持を担う企業として、安全・安心な水の安定供給を実現し、地域住民の皆様の健康で快適な暮らしを支えます。客観性と透明性の高い経営を実践し、発注者である行政、地域社会、そして従業員といったすべてのステークホルダーから信頼される事業を推進することで、熊本の「持続可能な水循環と生活環境」の実現に貢献できる企業を目指します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
		項目	
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	建設副産物の再資源化(リサイクル)率向上 (解説: 現場で発生する古い配管やコンクリートガラ等の分別を徹底し、再資源化率を高めます。)	建設副産物のリサイクル率	
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		80%	90%
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	従業員の資格取得支援と技術継承 (解説: 従業員の成長と会社の永續のため、資格取得費用を援助し、ベテランから若手への技術継承を計画的に進めます。)	従業員の国家資格・特別教育の延べ保有数	
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		5	10
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	DX推進による現場生産性の向上 (解説: 現場写真の管理や日報作成にアプリを導入するなど、デジタル化によって業務を効率化し、生産性を高めます。)	現場管理のデジタル化率	
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		70%	90%

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

行政、取引先、従業員、地域社会といったステークホルダーと連携し、公共インフラの維持、環境負荷の低減、人材育成を通じて、持続可能な地域社会の実現に取り組みます。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。